

亡国の政治に レッドカード!

安倍政権打倒を国民的大運動を よびかけます

暴走が目にする安倍政権。その正体は日本の国と国民を滅ぼす「亡国の政治」です。

- 集団的自衛権
- 消費税 10%
- 原発の再稼働
- 沖縄の新米軍基地

緊急の4つの転換

「海外で戦争する国」づくりを中止し、
憲法9条を生かした平和日本に

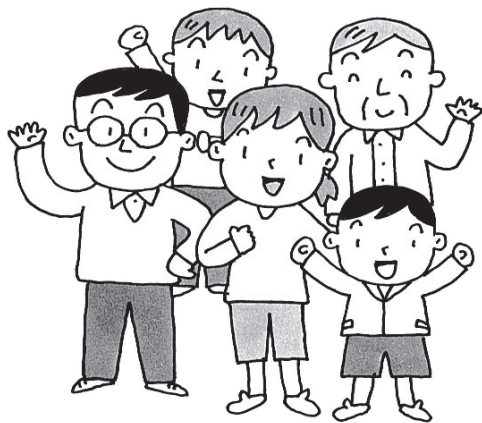
国同士のもめごとは、話し合いで解決——東南アジアにある平和の仕組みを、北東アジアに広げる。

くらし破壊の「逆立ち」経済をただし、
くらし第一で日本経済を再生

「税金は負担能力に応じて」「内部留保の一部を賃上げに」——大企業と富裕層に応分の負担を求め、国民の所得ふやす経済改革を。

原発再稼働を止めて、
「原発ゼロ」の日本に

米軍新基地建設を
ストップし、基地のない
平和な沖縄を



日本共産党

集団的自衛権

殺し、殺される国に



新しい防空装備を米海兵隊に披露する
自衛隊員 海兵隊ホームページより

失うものは計り知れない

●若者の命と人生

NATO（北大西洋条約機構）軍は米のアフガン戦争に集団的自衛権で参戦。「後方支援」ばかりでしたが、戦闘に巻き込まれ米軍以外にも1035人もの犠牲者が出ました。日本の若者をそんなめにあわせるわけにはいきません。

●9条とともに築いてきた国際的信頼

紛争地でも「ウエルカム」と歓迎される日本。他国民に銃を向けたことが一度もないからです。「海外で戦争する国」になったら、この信頼がすべて失われてしまいます。

日本共産党 創立92年、反戦・平和ひと筋

日本共産党は今年で創立92年。戦前、他の党が太平洋戦争を前に党を解散し、「大政翼賛会」に合流して侵略戦争を推進するなか、敢然と反対の旗を

掲げ立ち向かいました。

いま、「海外で戦争する国」づくりの動きに反対する世論と運動のよりどころとして、期待と信頼が高まっています。

靖国神社

侵略戦争美化の特殊な施設

靖国神社は戦中、国民を戦場に動員する道具とされ、現在も侵略戦争を美化・宣伝し、A級戦犯を犠牲者としてまつる特殊な施設です。

靖国参拝は、侵略戦争肯定の立場に身を置くことを内外に宣言するもので、国際社会の信頼を失い、近隣諸国との友好という国益を損ないます。